



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：松崎 浩 幹事：野沢 達也 発行：会報・広報委員会

第 2981 例会 (11号) 2015 年 9 月 17 日 (木) 雨

外部卓話 SPEECH

学生ボランティアについて



日本財団学生ボランティアセンター
常務理事 古川 秀雄 様

日本財団学生ボランティアセンター (通称ガクボ) の設立の狙いは、学生の社会貢献活動を活性化させることと、地域社会での問題を解決するお手伝いをするのが柱です。具体的には、学生ボランティアが「金がないからやらない」などにならないよう活動協力金 (G S F) を拠出しています。また、災害ボランティアに限らず様々な活動に学生を派遣しています。さらにセミナー、シンポジウムを開催。全国約60の大学と協定を結んで学生の社会参画を支援しています。

日本財団というのは、競艇 (モーターボートレース) 事業の売り上げを公益事業に還元する目的で設立されました。学生ボランティアに関しては法律上直接、財団から支援することができないため「ガクボ」を発足させました。

福島県に関わることでは、東日本大震災の被災地に対する「チームながぐつプロジェクト」という取り組みがあります。震災後、岩手、福島、宮城各県に派遣した学生数は8,781人になります。このうち、いわきには1,790人を派遣しています。全国の大学161校から被災地に赴いており、いわきには85校から来ています。また、海外の留学生も参加したいという意向が多く、国籍だと40カ国にのぼり、いわきには4カ国の学生が訪れました。

いわきで最初に活動したのは、2013年7月に訪れた早稲田大米式蹴球部 (アメフト部) の約60人でした。その後、ながぐつプロジェクトの公募による学生たちが、アクアマリンパークで催された「カジキグルメサミット」などのイベントの手伝いや、NPO法人オーブプロジェクトの活動支援、地域の夏祭りやスポーツ大会の裏方などに活躍しています。ボランティア活動については、私どもだけが動いているのではなく、地元の諸団体・有志の皆さんの協力や要請があって実現できるものなのです。

なぜ、若者のボランティア活動が必要なのか、という点ですが、大学によっては単位に認定しているところもあります。ただ、我々が重視しているのは若者に「共助の精神」を身につけてもらうことです。日本古来のDNAともいべき精神をボランティア活動によって復活させ、人と人とのつながりをしっかりと感じ取ることが第一だと考えます。

災害ボランティアは、まだまだ課題が多くあります。発災直後は飛びつきがよいが、徐々に冷めて行動が変わってくる。常に被災者に寄り添う姿勢が大事だと言いつつ、時間がたつと学生は2極化して、熱心な学生もいるが、見向きもしなくなることも現実です。無理強いはさせず、できる範囲のことを息の長い活動として続けるよう図っていきます。

「ガクボ」では学生ボランティアを支援するための募金箱を福島県産の木を使って作り、各地に設置しています。いわきでは、この例会場のワシントンホテルのフロントや夜明け市場のお店などにもお願いしています。ロータリークラブの皆さんの会社などでも協力いただければ、すぐに県産材で募金箱を作り、お持ちします。

現在、学生ボランティアは1カ月に1回、いわきでの活動に訪れています。そろいの緑色のビブスをつけて様々な場所に現れると思いますので、見掛けただけで声をかけてもらえれば幸いです。彼らは自分たちを認めてもらえることで励みになり、いわきのファンになることもあるでしょう。将来、結婚して家族連れで、いわきを訪れる可能性も十分ありますので、よろしく願い致します。

現在、学生ボランティアは1カ月に1回、いわきでの活動に訪れています。そろいの緑色のビブスをつけて様々な場所に現れると思いますので、見掛けただけで声をかけてもらえれば幸いです。彼らは自分たちを認めてもらえることで励みになり、いわきのファンになることもあるでしょう。将来、結婚して家族連れで、いわきを訪れる可能性も十分ありますので、よろしく願い致します。

現在、学生ボランティアは1カ月に1回、いわきでの活動に訪れています。そろいの緑色のビブスをつけて様々な場所に現れると思いますので、見掛けただけで声をかけてもらえれば幸いです。彼らは自分たちを認めてもらえることで励みになり、いわきのファンになることもあるでしょう。将来、結婚して家族連れで、いわきを訪れる可能性も十分ありますので、よろしく願い致します。



2015~2016年度
国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a gift to the world

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

司会：野沢幹事

点鐘・ロータリーソング（我らの生業）・
四つのテスト（山野辺倉平会員）

山野辺倉平会員



★ 誕生祝



石井 隆幸さん
(9月30日)

ハッピーバースデーソング斉唱

〈訃報〉 鷺 佳弘氏

9月14日に享年80歳でご逝去
されました。ご冥福を祈り、全
員で黙とうをささげました。



◆会長挨拶ならびに報告



皆さんこんにちは。会員の鷺佳弘
様の訃報に接し、残念ながら本日の
例会は、黙とうで始まることになっ
てしまいました。

鷺様は昭和51年2月に入会され
ました。在籍40年の間には1988年-89年度に第
36代会長を務められました。その時の幹事は、有
賀行秀会員のお父様の故有賀敬四郎様でした。そし
て阿部弘行会員のお父様の阿部乙之様が会長の時に
は幹事を務められました。私が記憶しているのは、
鷺様がお元気だった頃、鷺様への「卓話」のリクエ
ストが多かったということです。最後に卓話を頂い
たのは何時だったでしょう。つい、この間のように
思えてなりません。

例会を前に臨時理事会を開き、次回の9月24日
は鷺様の告別式と日時が重なるため、休会とするこ
とに決まりました。謹んでご報告申し上げます。

さて本日は、先ほどご紹介しました日本学生ボラ
ンティアセンター、通称「ガクボ」の常務理事の古
川秀雄様に卓話をお願い致しました。限られた時間
ではありますが「ガクボ」の活動を理解できるよう
拝聴したいと思います。

◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

卓話をお願いした

日本財団学生ボランティアセンター常務理事
古川秀雄様

◆幹事報告

〇いわき常磐RC、いわき平東RC、いわき平中央
RCより会報が届きました。

委員会報告

◆出席委員会（佐藤淳委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メークアップ数
9月17日	52名	25名	—

◆ロータリー財団委員会（鈴木東雄委員長）

松崎勉さん、松崎倫久さん、竹谷金浩さん、黒須
幸雄さん、浅倉哲也さん。 以上5件

◆米山記念奨学会委員会（菊田政寛委員）

松崎勉さん、松崎倫久さん、竹谷金浩さん、菊田
政寛さん。 以上4件

◆スマイルボックス委員会（黒須幸雄委員長）

♥松崎浩さん（古川秀雄様卓話よろしくお願
い致します）♥石井隆幸さん（誕生日プレゼントありが
とうございます。55才になります）♥有賀行秀さん（ガ
クボの古川さん卓話よろしくお願
い致します。遠路は
るばるありがとうございます）♥佐々木芳弘さん（古
川さん卓話よろしく）♥志賀弘昌さん（古川さん卓
話よろしく）♥三瓶和秀さん（古川さん卓話よろし
くお願
い致します）♥関口武司さん（古川様、卓話宜
しくお願
い致します）♥鈴木稔さん（古川さん、先
日は江名小での活動お疲れ様でした。本日の卓話、
楽しみにしております）♥飯野光世さん（例大祭無
事に終え感謝。早退します）♥平戸康明さん（水災
で被災された方々にお見舞申し上げます）♥黒須幸
雄さん（水災お見舞申し上げます）♥山崎慶一さん
（都合で早退させていただきます）♥菊田政寛さん
（しばらく休んでおり申し訳ありませんでした）

以上13件

★本日の例会案内 10月1日（木）12:30～

出席委員会担当卓話

お食事メニュー＝ポークソテー茸ソース温野菜添え
／サーモンチーズ焼き

★次回の例会案内 10月8日（木）12:30～

米山記念奨学会委員会担当卓話

ズインモーウェイ様（東日本国際大在学、ミャンマー出身）
お食事メニュー＝鮭袖庵焼き／親子煮